

紅葉百人一首



小倉百人一首

定國源
山々山
花の香

子江日
所遊の
画畧

全江
葉の
うん

愛中
あな
感の香

人歌

和舟
神祇
通

源氏
の香

源色
六歌
仙

女
琴
歌

金
六歌
門の



六 歌仙

僧心遍照
もろきものおどりに
あまねらるるを
なまのいぬを

かこむむむ

在来業奉相臣

おちこの月

めきとれどとの

つむきひこの

おひとあるを

吹くくふあきのこころの

しんぶんを



喜捨法師

きつせん法師の

はつとあるを

くひのあかり

小野小町

うしろをうらふあひ

よれあうの

人のこころ

大友まき

かきつせん法師の

そとあふ

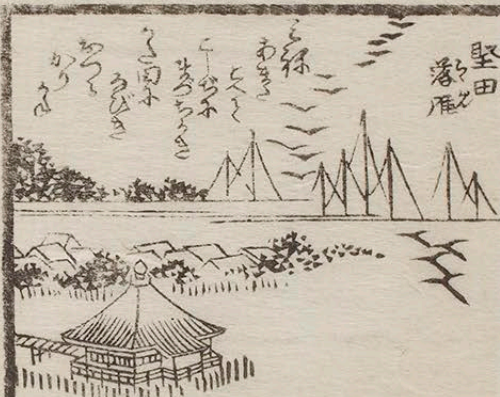
くへぬき

あふあふ

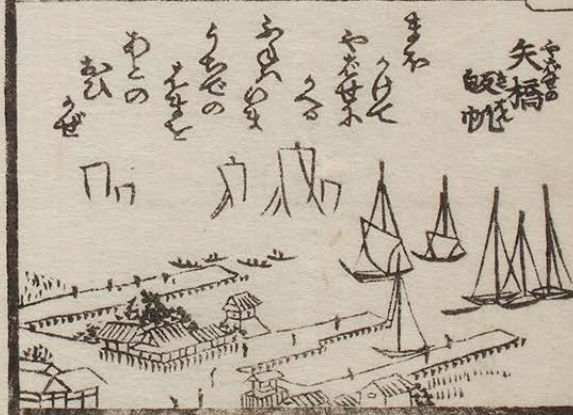


迎江八景并和歌

堅田
鵜雁



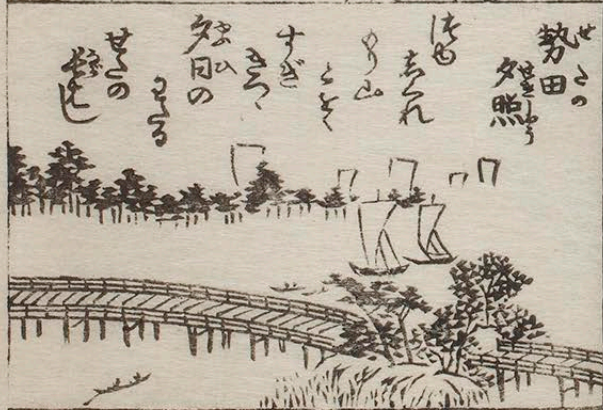
矢橋
鵜雁



比良の
暮雪



勢田
夕照



三井晩鐘

あゝその
あゝつき
あゝわど
あゝ
あゝ
あゝ
あゝ

[illegible][illegible][illegible]

源公忠朝臣

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a name, located at the bottom of the page.



壬生忠孝
子の同孝

勝たふ小まの
 まうせふ
 ちよの
 いぬ
 うを
 ひらけ



奇宮女

そのとき
王様の
おまへに
おまへに
おまへに
おまへに



大中臣蔡基

ひとすゝお
ちよを
こゝろ
つゝ
つゝ
つゝ



蘇軾行狀

秋きねと
さやうお
足ついで
風のそよを
ちぎる
えれ
ちぎる
ちぎる



源重之

風をふく
 むらう
 あれのみ
 るふてめ
 むふふ
 むふ



陳信明

といふに
 ちまどを
 あらねば
 こゝの
 月を
 飛
 めさ
 り



ももろく
 あけの
 わり
 あい
 くも
 くらげ



三つのおもひ
 くる月を
 を
 ぬきわね
 こよひがゆめ
 のちのち



たれをちも
ある今
せん
さみちの
まも
むら
さき
うす



あまのね
よきのち
ふくさふ
あいのね
あし
うら
てん



[Handwritten notes:]



まゝ
コウ
山
の
うの
わ
あ
あ



Left
back
5-10-54
M5-1
2-5-54
2-5-54
2-5-54



ありあり
月の
ひかりを
まきど
ころよの
いそ
ふけ
けろろ



第 四

[illegible]

三
 本
 人
 磨



桐壺

源氏五十四帖
和歌集
の巻

けしき
 まき
 ち
 ゆ
 ありあ
 あづきやうを
 らるるらる
 じまびに
 け



持統天皇



人

うつたの
 みまへ
 このま
 まに
 ちうし
 へ

山色 赤人

五

五

白雲

室の

意福子
女



夕
類

ようで
 こそ
 それうとも
 なをききよ
 あくとも
 くの
 中ずね



猿
乃
坐
夫

秀山

子

糸

卷之六

秋

かき

百八

十四

五


 是日
 未拂
 高下
 月
 年
 月
 日
 子



卷之四

美云

三

奇

ちんちん

三

Leiden

おひやくとせ

これのまゝ

凡人

彈丸

ふねやと

五

三

美

五

喜

孝

あまのうた



柳

春城 望
和泉

半為

子

二六三

六

七

あまの

了





花友を



花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を



花友を



花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を

花友を





明石



あまのよれ
つひのこえ
ふらふら
うけとこ
すもろん

河原左大臣

みちの

あま

あま

え

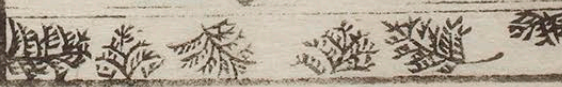
かみ

ふ

あま

あま

あま



零標



あまのよれ
つひのこえ
ふらふら
うけとこ
すもろん

光孝天皇

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま





遠生

等

174

ms. 8

卷之五

好之

のこの

子仍毛

中納言所平

三

いふの

乃

不

3

高

望

今之

人

関越
屋

子

1892

200

130

あひだ

卷之

わらうのきやうを
在平業事期に

少

報

金

卷之六

之

...

かき

卷之四

子





絵合



うきうき
そのうき
うきうき
うきうき
うきうき
うきうき

きつてのうきうき
きつてのうきうき

きつてのうきうき

きつてのうきうき

きつてのうきうき

きつてのうきうき

きつてのうきうき

きつてのうきうき



松風



うきうき
そのうき
うきうき
うきうき
うきうき
うきうき

きつてのうきうき

きつてのうきうき

きつてのうきうき

きつてのうきうき

きつてのうきうき

きつてのうきうき





雲

つり目

うさぎ

うさぎ

うさぎ

うさぎ

うさぎ

うさぎ



先良親王

己ひおれ

金

金

金

金

金

金

金

金



胡顔

早

つり目

つり目

つり目

つり目

つり目



素性法師

今

今

今

今

今

今

今

今

今





乙亥
如



だうめんじ
 か
 あまうそ
 あまうそ
 あまうそ
 あまうそ
 あまうそ



胡蝶

[illegible]

文屋康秀

吹雪
うき
み

秋の

今

孝

山風

५

子



大
江
子
里

月三

七

8

第

我身

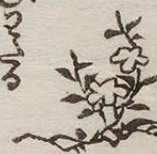
卷之四

秋のあふれ





五箇



こひつる

こひつる

こひつる

こひつる

こひつる

菅家

おのび

おのび

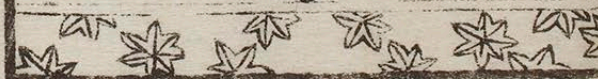
おのび

おのび

おのび

おのび

おのび



初音



こひつる

こひつる

こひつる

こひつる

三條右大臣

おのび

おのび

おのび

おのび

おのび

おのび

おのび





常夏

こゝろ
せむし
まの
あふり
まの
あふり
あふり
あふり



常夏

あふり
あふり
あふり
あふり
あふり
あふり
あふり
あふり

貞信公

小倉山

あふり
あふり
あふり
あふり
あふり
あふり
あふり
あふり



中納言兼輔

みよ子

あふり
あふり
あふり
あふり
あふり
あふり
あふり
あふり





篝火



かき
たか
なち
こひの
くすも
うめ
ふの
あふ
あふ

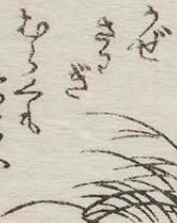
山雲

源家千鶴

さ
あ
人
かれ
あふ



廿



あふ
あふ
あふ
あふ
あふ

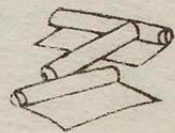
凡河内躬恒

あふ
あふ
あふ
あふ
あふ





志の成る

[illegible]

春道列樹

山河

風の

智

卷之四

श्रीगुरुभ्यो नमः

あ

紅糸
あひら



梅枝

嘉祐

知子

卷之五

2200-10-10

三

孝子

李

紀友則

久^クニ

のどろ

卷

四

高子

なるの

ちえ





後表家



もろひ
あぢの
うゝまの
きとちやう
これとてえ

おぢのうゝま
後表家

誰をうゝま

あの人

雪の

まの

もろひ

あぢ

あつち



おぢのうゝま
後表家



もろひ
あぢの
うゝまの
きとちやう
これとてえ

おぢのうゝま
後表家

誰をうゝま

あの人

雪の

まの

もろひ

あぢ

あつち





為菜

[Calligraphy]

清永年

夏なつの上衣うし

龍

五

吟

書

2

月夜

5



福來

5005

三

のえん

二

五

たゞを思ひの

多

Grubbs



文^六屋^六朔^六康^六

志

卷之六

15

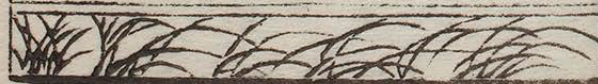
五

秋の
た



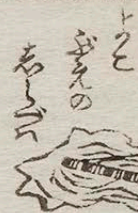
法

五





横笛



おえの
あふ
うへ
うへ
うへ
うへ
うへ
うへ

右近

おえの
あふ
うへ
うへ
うへ
うへ
うへ
うへ



鈴虫

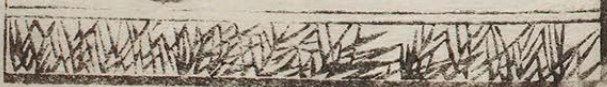


うへ
うへ
うへ
うへ
うへ
うへ
うへ
うへ

泰藏等

あふ
うへ
うへ
うへ
うへ
うへ
うへ
うへ

あふ
うへ
うへ
うへ
うへ
うへ
うへ
うへ





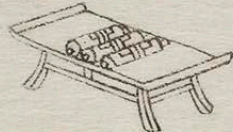
知方

やま
ふもとに
あられと
そよす
ゆきよりみ
しらぬえん
ういもさる
らりて

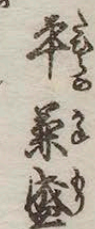
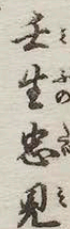


術法

正元
重刊



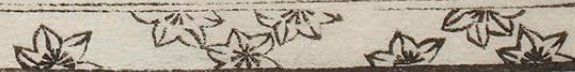
このり
あまは
たのまう、
よりせむまふ
あつち
ちぎりと

[illegible]

35
萬年
萬年

方子記

人



去丁

[illegible]

清永元補

卷之四

袖を

孝

糴の

五

155-156



白雲宮

發

二

之

1850

22

مکتبہ اسلامیہ

五

もろくろ

中納言 敦基

重なる

のち

五

今

者

子

三

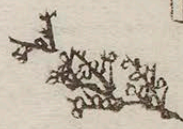
五

ぎりけぞ





紅梅



くらわたり
お花のあはれ
その
まうらひの
こころ
あはれ

中納言朝忠



うしろ

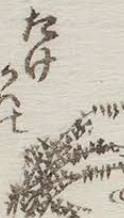
くさ

あ

あはれ



竹



お花
くらわたり
お花のあはれ
その
まうらひの
こころ
あはれ

徳

あ

い

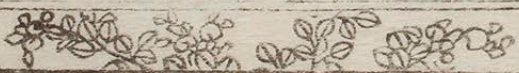
あ

あ

あ

あ

あ





橋本

この
ひの
こを
くま
れう
さ
さ
る
の
あ
ら
う
さ
る
さ
る
ぬ
ら
る

曾
孫
好
忠



秋
の
こ
ら
る



橋本

れ
ら
う
ん
ふ
と
な
る
あ
ら
う
さ
る
さ
る
ぬ
ら
る

惠
安
法
師

つ
ま
ま
な
る

あ
ら
う
さ
る

あ
ら
う
さ
る

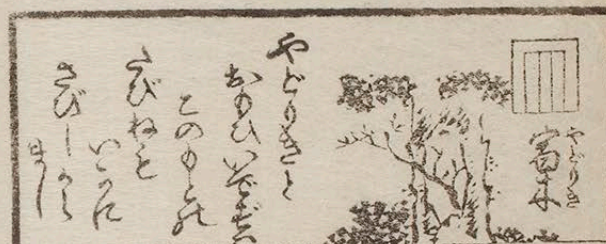
あ
ら
う
さ
る

あ
ら
う
さ
る

あ
ら
う
さ
る

あ
ら
う
さ
る







請 鑒

李將道經

卷之三

印

學

1895

卷之六

天行時疫

亭

卷之五

敬米道信秋區
 103

今

多

夢

子

名恨

轉
月
子



發字
發字

25

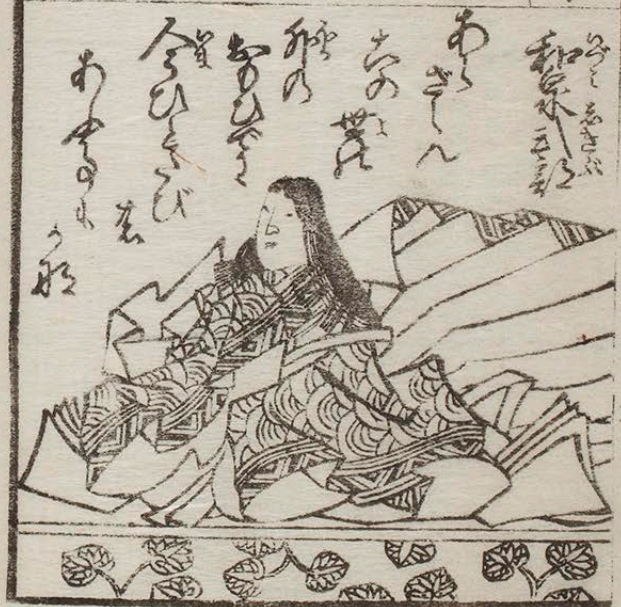
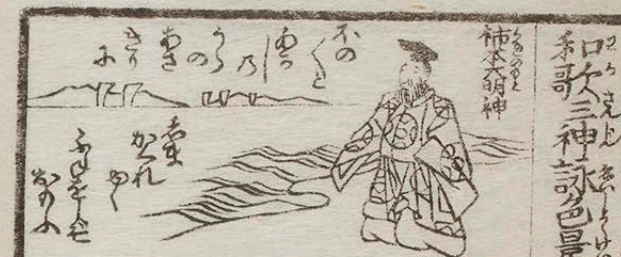
二、三

三才

250

中

卷之五



近江の
野路の玉川



俊成綱良

あまよき

のちの玉川

もどろて

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

くさくさ

いさおのま
小武蔵侍

大江山

生家の

うまは

こま

なれ

き

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

いせの
伊勢大輔

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま



桐模

持衣

すつち

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま



あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

武彥
調布玉川

定家規

七

卷之四

73

包

152

乙未

三

其子受
德少納言

東坡先生

と

そね

三

卷之六

卷一

卷之五

五

第

三

陸奥

千五百

能因法

卷之九

名在

嘉

の
の

Not

卷之五

子

西

23

九家書文通雅

今

卷之八

卷之七

卷之六

2

一

11

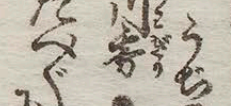
子



高師五所
弘法大師
天長六年
乙未
春
月
六
日
作
山
田
五
所
印

山田五所印

網代あみしろは
 うしろの
 川かわの
 なぐさ
 あみしろ
 網代の
 網代あみしろは



玄王天歌仙繪抄
 ねれまはらの
 みつらん
 ありせ
 かりを
 ねれまはらの
 みつらん
 ありせ
 かりを

相授

恨云

神虎

あ
と

無小
之見

名
古
丸



月夜のまは



ちきりふ
あはれ
つぎふ
あまの
あまの
うき
さうけれ

長閑法師

寂一さん

なを

あはれ

あはれ

あはれ

秋の

あはれ



月夜



あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

大納言

あはれ

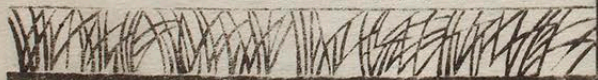
あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ



[illegible]

右通

舟

金

[illegible]

[illegible]

多岐の
おひきろふ
と
あふひ
むさふさ

源
兼
昌

清溪書

於

乃

卷

考江

裁長 孫子めぬ

香林



A row of five stylized floral or foliate motifs, possibly representing a decorative border or a sequence of designs. Each motif is unique, featuring various combinations of loops, curves, and pointed ends, rendered in a dark, ink-like color.

赤條

後

主心法

なりとうれ

七

卷

三

2



左家更於輝

秋葉

子

雲

亥

朱子

存
月

新の
あけ



五

五

嶺南

一、（上）
一、（下）

長久

志

今既之

吉

物々

82

中

卷之五

多士

三才圖會

石

卷五

知

高士

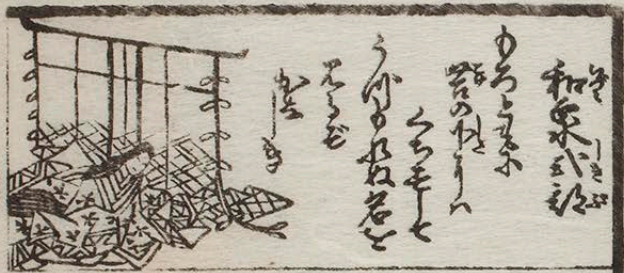
三

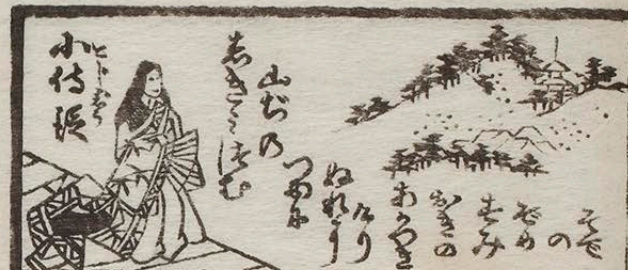
あつち

中々明の

白

23







伊勢^せ冬^{ふゆ}楠^な

つるねの

田舎つうい

Hydrogen

之

金

三

殷雪門院

國全

下

卷之五

卷之五

德子

卷之六

楚

命

卷八

每

之

其ノ一ノ三ノ見
信少納云

1872

田

高

27

七

雙蓮

2

五

張氏家譜

पुनः पुनः

あまねおの

三

卷之四

卷之六

250

齊

2

三

卷之四





名古登本町三丁目
菱屋茂兵衛板



如
細
子





x-rite ColorChecker® Color Rendition Chart